

問 中央区画整理事業と公園の進捗は

答 事業の終結は令和10年を目指す



新政とうかい
おおうちのりお 大内 則夫 議員

問 中央土地区画整理事業の令和5年度の事業予定は。

答 令和5年度の工事予定は物件移転補償1件、道路工事2路線、擁壁設置工事7件、軟弱地盤対策工事2件を計画している。

問 中央土地区画整理事業の終結はいつになるのか。

答 事業計画では、令和5年度までの事業終了となっている。これからも事業を継続する必要があり、今年度から取り掛かっている事業計画の変更及び見直し内容の洗い出しを



公園のシンボルツリー付近に、大型滑り台を設置

め、事業実施期間は、5年先を予定している。長を予定している。

問 (仮称) 神楽沢近隣公園の整備状況について伺う。

答 神楽沢近隣公園の整備状況は、今年度に予定の30%が進捗し、シンボルツリーでもあるモミの木などを設置した。令和5年度の予定は大型滑り台(長さ28メートル、高さ5.7メートル)やバスケットコート、ボール遊びが出来る芝生公園、水遊び用のせせらぎなどを整備して令和6年の開園を目指す。

問 学校と地域を取り巻く教育環境

答 各種関係団体との連携が不可欠

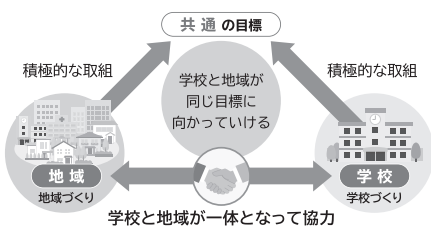


新政とうかい
たけべしんいち 武部 慎一 議員

問 社会状況の変化が多様化、複雑化するなか、少子化が加速的に進んでいる。学校の統廃合や廃止が進み、さらに学区を中心にした地域コミュニティの衰退も懸念される。国は、学区を中心に学校づくりと地域コミュニティの活性化を進めている。学校環境は多様化、複雑化し、教員だけでなく対応が困難な状況である。教員が子どもと向き合う時間を確保するために、何ができるのか考えを伺う。

答 学校現場では、いじめや不登校、ヤング

ケアラー等、多種多様で複雑化した課題に直面し、学校だけでは解決が困難なケースもある。課題解決には、学校、教育委員会、福祉部、児童相談所などの相談機関が連携していくことが不可欠である。教員の負担が増加し、児童生徒と向き合う時間の減少により、教育の質の低下が懸念される。児童生徒と向き合う時間を確保するため、令和5年度から休日部活動の地域クラブへの段階的な移行について準備を進めている。



学校と地域が一体となって協力